

2018 年度（第 21 回）
北海道ブロック現場実習実践研究セミナー

実習指導者フォローアップ研修

（キャリアパス助成対象事業）

「個と地域の一体的支援（ネットワークの構築）」を重視したソーシャルワーク実習プログラムの作成を目指して

—これから求められる社会福祉士像から考える—

社会福祉士の養成カリキュラムが、平成 19 年度に見直しが行われてから 10 数年が経過しています。この間、「社会福祉士は社会福祉士が養成する」を合言葉に、制度研修である「社会福祉士実習指導者講習会」では、実習指導者に必要な 4 つの能力として「実習マネジメント能力」「実習プログラミング能力」「実習スーパービジョン能力」「社会福祉士像伝達能力」を基盤に置いた研修プログラムを整備し、「高い実践力を保持した」社会福祉士の養成を目的に実習・演習等のカリキュラムの連携を通して施行されています。この間、一定の成果を示しながらも、更なる充実を目指し、実習関係三者（四者）の連携が深められています。

一方、社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会（平成 30 年 3 月 27 日）では、ソーシャルワーク（以下、SW）専門職である社会福祉士に対する役割について、『ニーズの多様化・複雑化に伴い、既存の制度では対応が難しい様々な課題に対して、「地域共生社会」の実現に向けて SW の機能を発揮し、制度横断的な課題への対応や必要な社会資源の開発といった役割を担うことができる実践能力を身につける』ことを要請しております。

今後、数年後に実施される「社会福祉士養成教育カリキュラム改革」を視野に置き、新たな社会福祉士像に対応できる「実習プログラム」の検討が必要になります。

本セミナーでは、普段の業務の SW 実践から、「個と地域の一体的支援（ネットワークの構築）」の場面を抽出し、それを手掛かりにしながら具体的な「実習プログラム」の作成を目標に展開します。具体的には、午前中は、新たに求められる社会福祉士像・カリキュラム改革の方向性の基本的理解を深めます。さらに、現場実践者から SW 実践業務からテーマに関連した実践報告を行い、後半に行われる「実習プログラム」作成のイメージを持ってもらいます。午後からは本セミナーのメインになります。少人数を対象とした「アクティヴ・ラーニング」方式を採用し「個人ワーク」「グループワーク」を通してディスカッションを活発に行いながら、主体的な参加を通して「実習プログラム作成のノウハウ」を身に付けます。

実習プログラミングは、「普段の SW 実践」から教育的な視座に立ち一定の様式に沿って具体的内容を記述することが基本的な作業になります。参加者の皆様方は事前に、SW 実践から特に「個と地域の一体的支援（ネットワークの構築）」を抽出して参加することによりセミナーに対する見通しが良くなります。

今回のセミナー対象者は、まだ実習生を受け入れていない方からベテランの実習指導者まで幅広く参加することをイメージして企画しております。テーマにある SW 実践についてイメージが湧きにくい方は、「ディスカッション」を通して理解が深まると思いますのでお気軽に参加下さい。

以上のような趣旨から、「個人ワーク」「グループワーク」を実施する際、実習委員は個別的に丁寧に対応したいと考えています。受講定員が 25 名と少ないので早めに申し込み頂ければ幸いです。

皆様方の参加を楽しみにお待ちしております。

【主 催】 公益社団法人北海道社会福祉士会

【日 時】 2019年3月16日（土）10:00～17:00※9:30受付開始

【会 場】 学校法人西野学園 札幌医学技術福祉歯科専門学校
B棟3階 第1視聴覚教室
(札幌市中央区南5条西11丁目1289-5 石山通・国道230線沿い)

【対 象】 社会福祉士実習指導者講習会を修了認定された方、相談援助実習を指導
担当されている方及び今後予定されている方、養成校教員。

【参加定員】 25名（先着順）
※セミナープログラムについて終日参加可能な方に限ります。

【申込方法】 受講料は前払いとなります。「第21回現場実習実践研修セミナー申込
書」に必要事項記入の上、払込票控えを申込書に添付し、当会事務局ま
でFAX（又は郵送）にてお申込み下さい。

【参 加 費】 会員：2,000円 非会員：3,000円
交流・情報交換会費3,500円（参加希望者のみ）
※交流・情報交換会に参加希望される方は参加費と合わせてお振込み
ください。

【振 込 先】 ・ 郵便振替口座 02720-3-64711
・ 名 義 公益社団法人北海道社会福祉士会
※振込用紙は郵便局に備え付けの「青色 振込取扱票」（振込手数料各
自負担）をご使用ください。

他金融機関からの振込用口座

- ・ ゆうちょ銀行 二七九（ニナナキユウ）店（279）当座0064711
- ・ 名 義 公益社団法人北海道社会福祉士会

※通信欄に「実習指導者フォローアップ研修」とお書きください。

【締め切り】 2019年3月8日（金）

【お問合せ先】 公益社団法人北海道社会福祉士会事務局
(月曜日～金曜日 9:30～16:30)
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7 4階
TEL 011-213-1313 FAX 011-213-1314
E-mail: info@hokkaido-csw.or.jp

セミナープログラム

司会・進行：越石 全（札幌医学技術福祉歯科専門学校）

9:30 受付開始

10:00 開会挨拶 北海道社会福祉士会会長 清野 光彦

10:05 報告：
「SW専門職である社会福祉士に求められる役割・教育カリキュラム動向」
丸山 正三（藤女子大学）

10:35 実践報告 「個と地域の一体的支援（ネットワークの構築）」（各 20 分）
実践報告① 鈴木 舞（滝川市立病院 MSW）
実践報告② 北村 満広（社会福祉法人 美深福祉会 共同生活援助
共生の里 主任支援員）
実践報告③ 芳賀 憂子（札幌市社会福祉協議会 地域福祉部
自立支援課 権利擁護係 事務職員）

質疑応答

12:00 昼食休憩

13:00 【演習】 「個と地域の一体的支援（ネットワークの構築）」を基盤とした
実習プログラムの作成（個人・グループワーク）
コーディネーター 越石 全（札幌医学技術福祉歯科専門学校）

展開方法：

参加者の領域・経験等を考慮したうえで、1グループにつき5名程度のグループを構成し、個人ワーク・グループワーク（ディスカッション）を行います。最初に演習の趣旨説明を行ったうえで、テーマに沿って各自のSW実践を抽出します。その後、個人ワークの成果についてグループ内で報告し内容の確認を行い、理解を深めます。次に具体的な「実習プログラム作成」に向けて、個人ワーク・グループワークを行い、作成にむけたノウハウを身に付けます。個人ワーク・グループワークを行う際、実習委員が1グループに1名担当し進行・助言等の役割を担います。

※個人ワーク・グループワークは、主催者側で用意した「ワークシート」をツールとして展開しますので、作業及びディスカッションする内容が明確になります。

途中休憩（15分）

16:10 全体報告

16:50 総括

17:00 セミナー終了

※18:00 懇親会開始

第21回現場実習実践研究セミナー申込書

氏 名			連絡先	自宅・職場 (○をつけてください)
住 所	〒 — —			
電 話	— —	FAX	— —	
職 場			・ 会員（会員番号 — ） ・ 非会員 (○をつけてください)	
交流会の参加 について	セミナー会場周辺で終了後より交流会を予定しています。 実習指導者同志の貴重な交流の機会として、多くの方々が参加者されることを希望しています。 参加される方は、右欄の参加希望に○をつけてください。 交流会費は 3,500 円を予定しています。			参加希望

【記入上のお願い】

- ・ 受講票の送付先については、郵便が確実に届くよう、地番、建物名や号室等までご記入ください。

受領証貼り付け欄 郵便振替払込金受領証のコピーを貼り付けてください。	北海道社会福祉士会 記入欄
	受付番号
	入金確認
	入力確認

※ご記入いただきました内容につきましては研修のみに利用させていただきます。

お問い合わせ先 公益社団法人 北海道社会福祉士会事務局（月曜日～金曜日 9:30～16:30）
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7 4階
 TEL 011-213-1313 FAX 011-213-1314 E-mail: info@hokkaido-csw.or.jp